

4月定例記者会見

平成26年4月1日（火）13:00～

ハイトピア伊賀 4階 ミーティングルーム

1. 市長からの発表

・伊賀上野NINJAフェスタ2014について

伊賀市の春の風物詩である伊賀上野NINJAフェスタ2014が今週土曜日の4月5日から始まります。

「忍者になれるまち」をコンセプトに実施している当イベントは、観光資源である忍者を活用したイベントとして多くのメディアにも取り上げられており、伊賀市を代表するイベントの一つです。

今年も、忍者変身処とまちなか忍者道場を中心としたイベントをはじめ、多くの日替わりイベントが開催される予定です。

また、今回より公式ホームページとフェイスブックを開設し、タイムリーな情報発信を行っていくとともに、GWなどの混雑時に衣装の在庫状況などをツイッターでも発信していきます。

このイベントは地域住民はもとより、多くの団体が参画していただいております、毎年延べ900名を超えるボランティアの皆様を支えられているイベントです。

詳細は定例記者会見後の忍者フェスタ実行委員会の記者発表でお知らせいたします。

・着地型観光推進パンフレットの完成について

平成25年度伊賀市着地型観光推進パンフレットが完成しましたのでご紹介いたします。

このパンフレットは、着地型観光を推進していくなかで、情報を発信するターゲットを20代後半～40代の女性を対象としております。

平成23年度にまちづくり伊賀上野が出していた「^{ダコー}daco」という中心市街地活性化のパンフレットが女性に好評であったことから、このテイストを活かして、伊賀市全域の情報を発信するパンフレットを作成いたしました。

コンセプトは「伊賀の日常が素晴らしい」ということで、伊賀市民が日常使っている食材やたまたまを中京、近畿圏等の女性層に紹介し、まず伊賀のファンになっていただくことを目的としています。

掲載内容は「おいしい伊賀」「伊賀の手仕事」「絵になる伊賀」「買って帰りたい伊賀」という4つのカテゴリーに分けて、伊賀牛、和菓子、伊賀の酒、歴史的な建築物、伊賀の自然風景、こだわりのお土産を中心に掲載しています。

発行部数は2万部で、伊賀上野観光協会、伊賀市観光案内所のほか、掲載店に設置いたします。

また、dacoの定期購読者である名古屋、大阪方面の約2,000人に対しても送付します。

三重県のアンテナショップである、東京の三重テラスや名古屋の桜通りカフェにも設置し、首都圏からの誘客にも活用していく予定です。

このパンフレットを通じて、忍者や芭蕉だけでなく、伊賀の日常的魅力を発信し、イベント開催だけでなく、本当の意味でのリピーターを増やしていきたいと思っております。

・伊賀市の女性管理職比率と男女共同参画の現状について

伊賀市では、市・市民・事業者がそれぞれの責務を自覚し、性別に関係なく一人ひとりが自立した人間として、あらゆる分野において活躍できる社会を実現するため、「男女共同参画」を推進しています。

特に「女性がより一層活躍できるまちづくり」を目指し、伊賀市男女共同参画基本計画の中で、市の女性管理職の割合を30%とする数値目標を掲げています。平成25年4月1日現在、市の女性管理職の割合は33.3%となっており、内閣府調査によると、全国で15番目、市に限定すると6番目に高い割合となっています。

ちなみに、今回の人事異動により、平成26年4月1日現在の女性管理職の割合は33.9%で昨年に比べ0.6ポイント上がりました。

これは、企画・立案能力の向上につながる研修等を女性職員中心に募集し育成に力を入れていること、昇格について性別による格差がなく、管理職になる機会を均等に行っていること、「適材適所」を念頭に置き、女性管理職を配置していることなどが理由として挙げられるのではないかと考えます。

しかしながら、自治会長や住民自治協議会の役員、運営委員の女性登用率は低く、地域での女性の参画はまだ消極的です。

平成26年度には「男女共同参画に関する市民意識調査」を実施しますが、その調査結果を踏まえ、市だけでなく、企業や地域でも、さらに女性が活躍できるようしくみづくりや意識啓発を進めていきます。

・排水ポンプ車の購入について

三田高砂地区では、今年の18号台風で大きな浸水被害が発生しました。2年連続しての被害ということで、大きく心を痛めていました。

そこで、伊賀市としては今後の対応を国および県の機関と相談し、水防活動の向上を図るハード対策の一環として「排水ポンプ車」の配備を検討し、経済性も踏まえ、新年度で1台取得できるよう予算措置を行うこととしたところです。

排水ポンプ車は、車両に排水ポンプ・操作盤などの機器を搭載した災害対策用の機械で、夜間においても迅速かつ安全に排水作業をおこなえるよう照明装置などの機能も装備し、大変汎用性が高く、水防活動のみならず危機管理上の運用も可能で大きな期待を寄せています。

・出退勤打刻システムの試行運用について

この度、公務の効率的運営及び職員の健康管理を目的に、出退勤打刻システムを試行導入することとしました。

このシステムは、職員に配布しています職員証を用いて、出退勤等の時刻を管理するタイムカードの電子化システムです。

当面、本日4月1日より、伊賀市役所本庁舎（南庁舎）に勤務する職員238人を対象に、システムを用いた出退勤の管理を行うこととしました。

今後、この試行導入結果を見て、他庁舎等への導入等も検討してまいりたいと考えています。

・職員の時差出勤勤務制度の試行導入について

平成25年度の職員提案制度で提案の中で提案された「時差出勤勤務」の具体化を図る制度として設計され、職員の時間外勤務の縮減と健康増進を図ることにより、公務の効率的運営をめざすこととしています。

時差出勤勤務とは、通常の勤務時間である午前8時30分から午後5時15分の勤務時間である7時間45分を変えずに、業務内容に応じて、始業時間をシフト調整する勤務体系です。

本日から1年間程度、全庁的に試行運用した上で、この制度の利用状況、効果や課題などを分析検討し、今後のあり方を検討したいと考えています。

(主な質疑応答)

(記者) 職員の時差出勤についてですが、勤務時間を繰り上げたり、繰り下げたりするということですか。

(人事課長) A型は午前7時から午後3時45分まで、B型は午前7時15分から午後4時まで、M型は午後1時から午後9時45分までというように、A型からM型まで13パターンに分けて勤務時間の7時間45分を変えずに型を選べるものを作り、市民説明会や夜間に勤務が予定されている事業がある場合は事前に出勤時間を遅らせて対応しようというものです。

(記者) 他市での導入はどうか。初めてですか。

(人事課長) すでに導入されている市もあります。当市でも毎週木曜日に窓口延長制度を導入しており、時差出勤制度を一部で導入してきましたが、それを全庁的にできるように対応します。

(市長) 余分な超過勤務が発生しないようにします。

(記者) 人件費はどれくらい削減できると見込んでいますか。

(人事課長) 試行導入ですので見込みはできておりません。

(市長) 実際の運用に向けて調査運用します。いろいろな課題も出てくるとは思いますが、試行を通じて吸い上げたいと思います。

(記者) 県内での導入はありますか。

(人事課長) 県内であるとは聞いていません。

(記者) 試算できていないとのことですが、市長はどれくらい減ると思いますか。

(市長) 残業は少ないほうが良いと思います。打刻システムとあわせて、しっかりとした合理的な勤務体制にして財政の健全化を図りたいと思います。

(記者) 伊賀市での時間外手当はどれくらい支払われていますか。

(人事課長) 一般行政職で1か月2,000万円ぐらいです。

(記者) 対象者は何人ですか。

(人事課長) 約600人です。

(記者) この2,000万円についてどう考えていますか。

(市長) 全体としてしっかりと見直していく、効率的な業務運用をするという観点から導入を決めました。どこのセクションがどういう仕事が効率化を図らなければならないというのが出てくると思います。しっかりと数字で把握する必要があります。

(記者) 打刻システムですが、支所はどうですか。

(市長) 今回の導入により一層の勤務体制に対する心構えを認識してもらえと思っています。将来的には支所にも置きますし、新庁舎ができた暁にはそちらにも設置します。

(記者) 時差出勤の対象者は何人ですか。

(人事課長) 598人です。

(記者) 支所に置かなかった理由は何か。

(人事課長) 市の施設すべてに置くことになると、職員が1人や2人の施設にも置かなくてはならないため、相当な経費もかかってきます。状況、効果等を分析したうえで、どこまで導入するのか判断したいということです。

(記者) タイムカードのイニシャルコストはいくかですか。

(人事課) 3か所で一時的な経費として250万円程度です。

(記者) 対象者は誰ですか。

(人事課長) 南庁舎勤務の正規職員です。

(記者) 女性管理職登用率が全国で6位ですが、市長の評価はどうですか。

(市長) ランクとしては上のほうですが、まだまだ女性にも頑張ってもらわなければいけないと思っています。職員の構成は36%ぐらいが女性ですので、少しでも36%に近づけなければなりません。個人の資質もありますので、そこまできなくても男女が個性にあった適材適所で頑張っていたいただきたいと思っています。

(記者) 実際の仕事への効果を教えてください。どんなことを期待していますか。

(市長) 女性には女性の持ち味、男性には男性の持ち味があるとしたうえでの話ですが、私は男だからとか女だからという事は基本的には思いません。それぞれの個性に応じて適材適所で頑張っていていただくことが地域を元気にしてくれる原動力になると思っています。

(記者) 男女共同参画に関する市民意識調査はいつ頃実施しますか。規模と回収率はどうですか。

(人権政策・男女共同参画課) 本年 11 月に実施を予定しています。2,000 人に配布する予定です。前は平成 21 年度に実施しており 2,000 通を配布して 1,118 通の回答でした。回収率は 55.9%でしたので、前回同等またはそれ以上を目指したいと思います。

(記者) 排水ポンプ車はどこにあったものですか。

(建設 1 課長) 国土交通省の福井河川国道事務所に配備されていた車両です。

(記者) 国が平成 9 年に 6,500 万円で買ったものを市はいくらで買いますか。

(建設 1 課長) これから交渉を行いますが、とりあえず 150 万円の予算措置をしています。これから整備にかかるので金額はもう少し上がってくると思います。

(記者) 大きさはどれくらいですか。木津川上流が持っているものと同じですか。

(建設 1 課長) 毎分 30 立方メートル。木津川上流と同等のものです。

(記者) 動かすのは職員ですか。

(建設 1 課長) 委託させていただきたいと思っています。

(記者) 三田地区の関係で、先日、3 者会議がありましたが、据え置き型のポンプを 2 機購入されるとのことでしたが、いくらぐらいですか。

(建設 1 課長) 2 台で約 1,400 万円です。

2. 4 月の主な行事予定

(1) 春の全国交通安全運動に伴う出動式及び啓発運動

【出動式】

日時：4 月 4 日 (金) 13:30～ (約 30 分程度)

場所：三重県伊賀庁舎玄関前駐車場 (雨天時は 7 階大会議室)

※出動式終了後、パチンコスーパードーム前で伊賀地区交通安全協会が行うミルミル・ウェーブに参加。(約30分程度)

【街頭啓発・交通事故死ゼロを目指す日】

日時：4月5日(土) 13:00～

場所：上野公園本丸広場(忍者フェスタオープニング会場)

内容：啓発物品、チラシの配布

日時：4月10日(木) 17:30～

場所：イオン伊賀上野店

内容：啓発物品、チラシの配布

問い合わせ先：市民生活課(22-9638)

(2) 菜の花まつり

日時：4月13日(日) 10:00～15:30

場所：大山田B&G海洋センター

内容：採れたて野菜市場、ご当地グルメ市場、お楽しみ市場

問い合わせ先：農林振興課(43-2302)

(3) 伊賀市議会平成26年第3回臨時会(予定)

日時：4月14日(月) 10:00～

場所：伊賀市議場

問い合わせ先：市議会事務局(22-9687)

3. その他

